

特別

会計

国民健康保険

Q 国民健康保険税の収納率向上のための対策は。

A 収税対策課長 基本的に国民健康保険税単独での滞納は少なく、住民税とあわせて滞納する場が多い。納税相談に際しては、まずは、厳しい財政状況にある国民健康保険税から納付するように促

後期高齢者

Q 歳入歳出ともに7・3割増加している理由と収納率は。

A 保険年金課長 75歳に到達する方が毎年300人程度ずつ増えていることから、保険料の賦課総額が増額している。保険料の収納率は99・48割で、前年より0・04割減少している。

介護保険

Q こころつ貯筋体操教室など

A 区画整理課長 一本松駅の駅前広場と南口通り線の工事を優先的に進める。

している。

2次予防事業の成果は。

A 高齢者福祉課長 参加者の半分強の方が運動機能などが現状維持か改善したとする報告があった。今後も介護予防教室を続けていく。

一本松土地区画整理事業

事業完了予定まで6年だが、今後の事業の方向性は。

A 区画整理課長 一本松駅の駅前広場と南口通り線の工事を優先的に進める。

特別会計決算

国民健康保険

歳入 80億2518万円
歳出 76億6533万円

後期高齢者医療

歳入 4億6779万円
歳出 4億6575万円

介護保険

歳入 29億736万円
歳出 27億3779万円

一本松土地区画整理事業

歳入 2億4584万円
歳出 2億1388万円

若葉駅西口土地区画整理事業

歳入 4億1525万円
歳出 3億6108万円

若葉駅西口土地区画整理事業

Q 保留地を処分する場合の処分単価の決め方と処分の状況は。

A 区画整理課長 単価は、不動産から実施している。

産鑑定士による鑑定評価によって単価を算出し、その後土地評価員から意見を聴いて確定している。一般保留地の一般公売は、25年度から実施している。

市の考えを問う 一般質問

9月17日・18日・19日の3日間行われた一般質問の主な質問(Q)と答弁(A)の概要を掲載します。

自転車、歩行者の交通安全対策

大野 洋子 議員



A 交通事故死亡者は高齢者が多い

質問一 鶴ヶ島市の交通事故状況について。

二 「人」優先の安心・安全な歩行空間の整備について。

三 自転車利用環境の整備について。

答弁一(市長) 市内の交通事故多発地域は、国道や県道、交通量の多い関越自動車道鶴ヶ島インターチェンジ周辺と、人口密集地域の

若葉駅周辺などの路線の交差点部での事故が多発している。

二 見通しの悪い交差点には道路反射鏡を設置している。富士見地内では「ゾーン30」の事業を実施し、グリーンベルトや路面表示、速度規制の看板を設置し、交通事故防止の対策を進めている。

三 高齢者は自転車乗用中や歩行中に事故に遭う割合が高いため、危

険箇所に大きな文字の反射看板を設置した。また、歩道の段差解消などの整備を行い、安全な歩行空間の整備に努めている。



交通安全教室

の新たな文字の反射看板を、自転車のネットワーク化を図り、安心安全に利用できる自転車レーンの整備に努めている。

◎その他の質問 (仮称)地域まちづくりセンターへの改編について